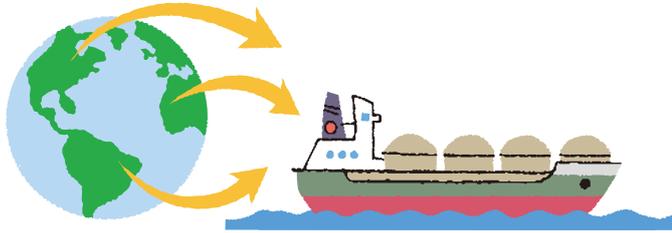


お客さまに電気をお届けするまで(サプライチェーン)

燃料調達



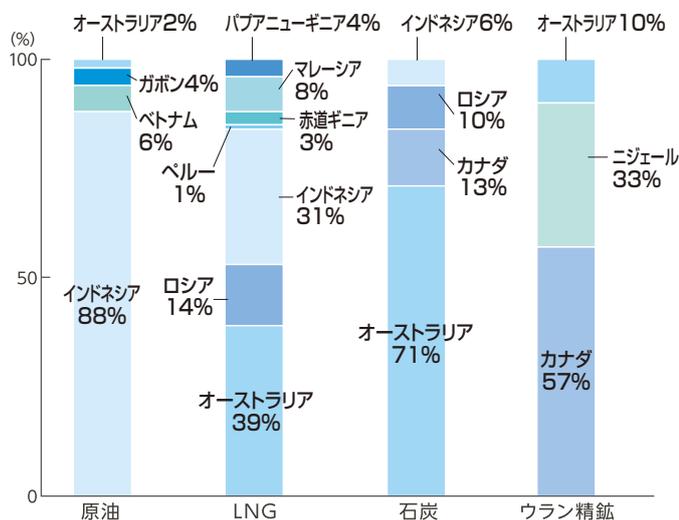
燃料調達先の多様化、資源開発・生産プロジェクトへの参画、及び燃料トレーディング（燃料の数量調整・価格管理）の導入などを行い、燃料調達力を強化しています。また、燃料輸送においては、自社LNG（液化天然ガス）輸送船や当社専用の契約船などの運航を通じ、コスト低減を図っています。

2016年度は、燃料価格の下落などにより、前年度に比べ燃料費が約28%（約1,000億円）減少しました。

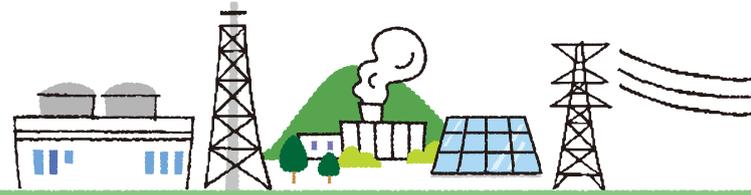


自社LNG輸送船(パシフィック・エンライトン)

燃料調達状況(2016年度)



発電



エネルギーの長期安定確保、地球温暖化対策、及び経済的な電力供給の観点から、安全・安心の確保を前提とした原子力発電の推進、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入、及び火力発電の高効率化などにより、各種電源をバランス良く組み合わせた発電を行っています。

2016年度は、玄海原子力発電所3・4号機の原子炉設置変更許可を受領しました。



玄海原子力発電所

発電設備 [九州] (2016年度末)

水力発電	143 箇所	358.0 万 kW
火力発電	8 箇所	1,031.4 万 kW
地熱発電 (バイナリー含む)	6 箇所	20.8 万 kW
内燃機発電 (ガスタービン含む)	34 箇所	39.6 万 kW
原子力発電	2 箇所	469.9 万 kW
風力発電	2 箇所	0.3 万 kW
太陽光発電	1 箇所	0.3 万 kW
自社計	196 箇所	1,920.3 万 kW
他社計	—	1,008.8 万 kW
発電設備合計	—	2,929.1 万 kW

発電設備 [海外] (2016年度末)

火力発電	5 箇所	148.5 万 kW
風力発電	1 箇所	1.5 万 kW
地熱発電	1 箇所	2.6 万 kW
発電設備合計	7 箇所	152.6 万 kW
地熱発電 (建設中)	1 箇所	5.4 万 kW

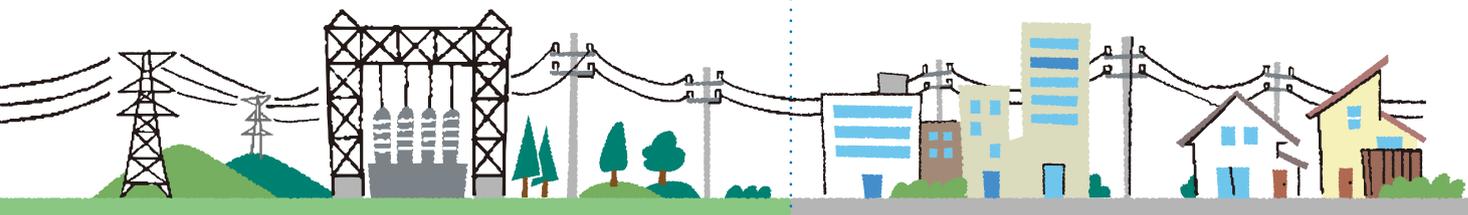
燃料調達からお客さまに電気をお届けする各過程において、CSRの取組みを行っています。



送電・配電



エネルギーサービス



発電所から変電所まで送電線で電気を送り、変電所から配電線で、ご家庭や工場などに、電気を安定的にお届けしています。

九州の産業や生活を支える電力を安定的に低コストでお届けするため、電力システムの安定運用や送電・配電設備の着実な保全を行っています。

2016年度は、熊本地震や台風の影響等、九州各地において広範囲にわたる停電が発生しましたが、全社を挙げて復旧作業にあたりました。



500kV 苅北火力線（九州一高い鉄塔 [高さ195m]）

■ 変電・送電・配電設備（2016年度末）

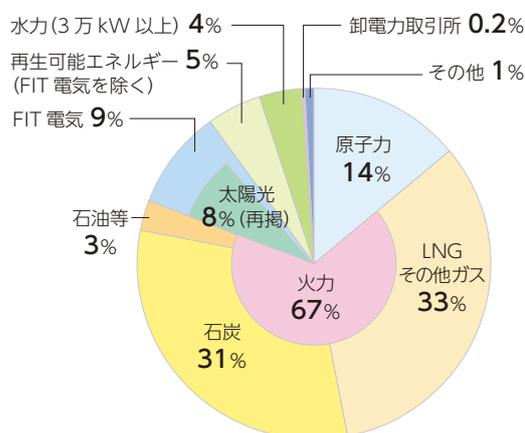
変電	変電所数	595 か所	
	容量	7,429.9 万 kVA	
送電	送電線路こう長	10,793km	
	支持物	鉄塔	約25,000基
		その他 (コンクリート柱など)	約40,000基
配電	配電線路こう長	141,090km	
	支持物	コンクリート柱	約2,396,000本
		その他 (鉄柱など)	約42,000本

ご家庭のお客さまのニーズに合った料金プラン・サービスや、法人お客さまへのエネルギーに関するワンストップサービスの提案など、お客さまのさまざまな思いにお応えする多様なエネルギーサービスを展開しています。

2016年度は、お客さまの多様なライフスタイルにあわせてお選びいただける料金プランを準備するとともに、お客さまが安心して暮らせる毎日をサポートする「九電あんしんサポート」を開始しました。また、オール電化による「快適で、環境に優しく、経済的で、安心」な生活をお客さまにご提案しています。 ※テレビCMも九州全局で放映



■ 電源構成（2016年度実績）



※詳細は、P112「電源構成・CO₂排出係数」をご覧ください。